

育成だより

第33号

平成24年3月26日

貝塚中学校区
青少年育成委員会

一学年「総合的な学習」の取り組み

『人とのふれあい』の中で 福祉について考える

貝塚中学校

一学年の総合的な学習のテーマは、「福祉」です。様々な角度から、「ビデオ教材」「読み物教材」などを通して「福祉」について学ぶことはできます。しかし、それだけでは、「福祉」について身近に感じることはできません。障害をもった方と実際に出会い、お話を聞くことができれば、より身近なものとして「福祉」を考えるきっかけにすることができると思っています。

十二月一日は、午前中に盲導犬を使って生活している久我さんをお招きしました。盲導犬のアラジンが、久我さんの気持ちがわかるようにすすいと



先導する姿が大変印象的で、障害者にとって、アラジンの存在の大きさやと久我さんの絆の深さを実感することができました。生徒たちも久我さんのお話の後、二人組みで目隠しをして、何も見えず真っ暗な中を歩く、ブラインドウォークを数十メートル体験しました。そのときの不安な気持ちや先導するときの緊張感など体験後の感想で素直な気持ちを表現した生徒が多く、身をもって目が見えない大変さを感じることができたようでした。

午後は盲導の星野さんの講演を聞きました。星野さんは、見えない、聞こえない状態なので、両手の指をタイプのように使う「指点字」という方法でコミュニケーションをとります。生徒も事前に指点字について学び、代表の学級委員十二名が、一人一人お礼の言葉を星野さんの指に直接ふれて伝え、涙を流してうなずいてくださる星野さんの姿に胸が熱くなりました。生徒たちは、有意義な時間が過ぎたと感謝の気持ちで一杯です。「福祉」について自分ができるような関わりをもてるのか考えさせられるよい機会となりました。

心を育てる体験学習の取り組み 千葉市立桜木小学校



本校では、『よく学び心豊かでたくましい子』の教育目標のもと、「思いやりのある子」「よく学ぶ子」「やりぬく子」の育成をめざしています。特に一人一人の児童の興味・関心を引き出しながら、好ましい人間関係や学習に向かう自発的な心を育てたいと各学年とも積極的に体験学習を取り入れています。例えば一年生は、サツマイモの栽培



と「蒸しパンづくり」、コマ回しやけん玉等の「昔遊び」、二年生は親子一緒に「千葉踊り」や「ポップコーンづくり」をしました。

保護者の方々のお手伝いもあり、どの子も意欲満々でした。

三年生は、「七輪での火おこし体験」、「パンづくり」、四年生は、「福祉講話会」での手話、点字、車いす体験や社会科「昔の道具体験」、「リサイクル教室」などで貴重な体験を通して、理解と自信を深めました。

五年生は地域の天気予報士の先生による「お天気教室」や「米づくりと収穫」、加曽利貝塚博物館の学芸員さんに学ぶ「縄文体験学習」、六年生は車いすを使っ

た「福祉体験学習」や東税務署職員の方々に学ぶ「租税教室」等の学習を通して、問題意識をもって日常生活を振り返り、自ら学ぼうとする意欲が掘り起こされました。



これらの活動の多くは、地域の先生方や保護者の皆様がいつも子どもたちを温かく見守り、応援してくださっているからこそできることであり、感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからも、皆様の力をお借りしながら、体験学習をどんどん取り入れていきたいと思っています。



福祉教育の推進 北貝塚小学校

北貝塚小では、生活科や総合的な学習の時間に、福祉に係わる内容の学習をしています。

貝塚町にある高齢者介護施設「シャローム若葉」に二年生の子ども達が毎年訪問し、お年寄りと交流をしています。

二年生の子ども達が交流内容を考え、練習し、交流会当日を迎えます。交流会の週は、一日一クラスずつ訪問します。劇や歌、マジックなどを披露したり、楽器の演奏をしたりします。

お年寄りに自分たちの発表を見ていただいた後、肩叩きや肩もみのプレゼントをお年寄りにしました。



短い時間の交流会ですが、交流会が終わるときにはお年寄りとは別れるのがつらく、涙ぐんでしまう子もいました。

四年生は、福祉の学習で車いすで生活する方や視覚障害の方への介助の仕方を学習します。実際に介助をする役と介助される役に子ども達は分かれ体験します。この学習では、介助の方法だけではなく、介助される側の気持ちについても子ども達は考えます。また、疑似体験として体にいろいろな装備をつけて動いてみる活動もしました。耳が遠くなったり、関節が曲がりにくくなったりすることの大変さを体験し、障害を持つ方やお年寄りに対して自分たちがどのように関わっていくことができるか学習しました。

平成23年度青少年問題協議会

9月17日(土)「青少年の日フェスタ」の中で千葉市青少年健全育成の表彰がありました。貝塚中学校区育成委員会からは青少年育成推進者 広報部 越川雅子さんが千葉市青少年健全育成功労者表彰を受賞しました。



平成23年度 地域情報

○**交通関係** 今年度は自転車等による交通事故が多数報告されていますが、24年3月28日には原陸橋からニトリまでのバイパスが開通します。これにより貝塚中学校周辺の交通量が増えることが予想されます。児童生徒だけではなく、地域の方々にもご注意いただきたいと思います。

○**防犯関係** 今年度も不審者情報は数多く報告されています。これまでは露出狂などが多かったのですが、最近は「つれこみ」(手をひっぱり車に乗せようとする)が報告されています。このように悪質化していますので十分注意する必要があります。被害者が増えないように下記の点に注意してください。

- ①不審者や変質者に会ったときは、大きな声を出して逃げる。
- ②すぐに最寄りの交番や東警察署に通報する。
- ③登下校や外出するときには、できるだけ複数で行動する。

千葉東警察署 233-0110 駅前交番 232-0332
桜木交番 231-1375

育成委員会ホームページ公開

平成23年度の理事会にて貝塚中学校区青少年育成委員会のホームページを作成しようと、会長の音頭の元に始まりました。どこまでの情報を公開しようとか、更新する上の情報セキュリティ保持はどうするかなどを話し合いながら進めてきました。個人情報の扱いは当然十分気をつけるが、何もしないのは育成委員会の活性化にはならないとの会長の檄もあり、広報部を中心としたみんなが積極的にかかわってきました。この度、4月1日に正式公開をするはこびとなりました。URLは以下の通りです。

URL <http://shell-ikusei.jp>

です。Yahoo!やGoogleの検索キーワードは以下の通りです。

“貝塚中学校育成委員会” “貝塚中学校区青少年育成委員会” “貝塚中 育成” “貝塚中学校 育成委員会”

まだまだ、コンテンツは少ないですが、これから充実させていく予定です。皆様にも暖かく見守っていただきたいと思います。

ホームページ担当 前島孝夫

23年度 各部会からの活動報告

環境・非行対策部

永嶋 哲朗

○七月九日

地域ぐるみ一斉点検パトロール 七名参加

○七月十六日～八月二十九日

夏祭り防犯巡視パトロール

桜木地区二班

都賀地区二班

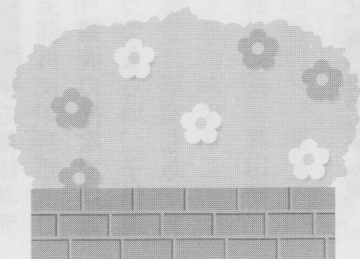
各三名

○十二月九日

地域ぐるみ一斉パトロール 部からは四名参加

○一月十五日

都賀駅周辺パトロール 参加者 部員四名
ご参加いただきました皆様、一年間ありがとうございました。



レクリエーション部

前島 孝夫

レクリエーション部の研修視察は、昨年のコンセプトを踏襲し、本年度も小中学生も参加しての研修企画としました。

小中学生が参加しても興味を持ってもらえるように、筑波学園都市の、地質標本館、エキスポセンター、JAXA見学を企画しました。

当日は、天気も危ぶまれていましたが、日中は雨に当たらずに良かったです。偶然にも東日本大震災でも話題になった地質に関する標本・展示がされていた地質標本館では、一緒に参加された父兄と子供たちが一緒に学習していたのが印象的でした。エキスポセンターの科学に関する展示物等は、さすがに年数を感じた展示物が多く、きぼーるの科学館のほうが新しさを感じましたが、子供たちには十分楽しめたのではないかと思います。最後のJAXAでは、スペースシャトルの実際の爆音を聞きましたが、もの凄い響きを体感できました。さらに人工衛星の実物大のモデルなどを見学しました。思っていたより大きく驚きました。

早朝から夕方まで長い行程でしたが、参加された父兄、児童、生徒は体験した内容を家で話していただきたいと思います。

健全育成部会

佐藤 謙一

二月四日から二月二十六日迄、都賀コミュニティセンターと桜木公民館の二か所を会場に今年度も健全育成部会主催で北貝塚小学校・桜木小学校の六年生及び貝塚中学校の一年生を対象に書初め展を開催しました。題材は小学6年生が「伝統文化」、中学生は一年生「伝え合う心」、2年生「羽ばたく夢」でした。

昨年は未曾有の大震災もあり大変な一年となりましたが、これを教訓に日本の伝統であります地域とのつながり、助け合いの心を再度考えていかなければならない中で良い題材であったと思います。作品は子供が書いたとは思えないものから、のびのびと自分を表現した個性的なものまで三百枚余りを展示させていただきました。展示に協力して下さった皆様、会場に足を運び作品をご覧くださいました皆様、ありがとうございます。



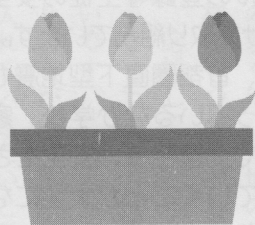
福祉・交通安全部

金森 邦夫

長期休暇明けの四月五日・八月三十日・一月六日の一週間ほど、活動場所は生徒の通学路で各委員の活動しやすい場所にて街頭監視、交通安全指導・チェック活動を実施いたしました。

部員実施報告より千葉東法務局から高麗商店・貝塚中学校への道路は大変狭く、生徒が道いっぱいになって登下校する際になかなか自動車や自転車が増えても道をあけることが出来ない、声を掛け合いスムーズに通すようにしたいものですとのこと。

今年度は自転車の交通事故が急増しています。自転車は自動車やバイクと同じ車両になります。事故は命にかかわりますので、自転車を利用する際にはヘルメットの着用を心がけてください。一年間部員の皆さんご協力ありがとうございました。



サマー キャンプ



今年も小見川少年自然の家に、一泊二日で行ってきました。

一日目は、イニシアチブゲーム、カヌー、ペタンク。カヌーは残念ながら強風のため中止になってしまいました。が、体育館では男女に分かれて行ったイニシアチブゲーム。難問も力を合わせて見事に解いていました。ペタンクという普段できない球技も楽しそうに行っていました。

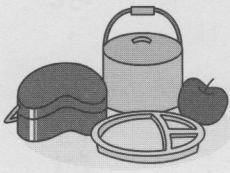
二日目はプラネタリウム鑑賞、野外炊飯、ネイチャーゲーム。プラネタリウムでは真剣に月や星を観る姿が印象的でした。野外炊飯では役割分担をして皆一生懸命作っていました。最後のネイチャーゲームでは自然と触れあい楽しそうに遊んでいました。

二日間を通してご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

来年度は長柄少年自然の家を予定しています。沢山の方のご参加を相談員一同お待ちしております。

青少年相談員

村松 公司



貝塚中協会の活動報告

私たち協力が活動を始めから十四年が経ちました。年々腹回りが太くなる一方で、落ち込む体力に負けじと、この一年間は協会の活動のモットーである補修美化作業に力を注ぎました。プールのスノコ作りや校庭周辺の草刈、雑木剪定、芝生養生、側溝清掃作業等々、貝塚中PTAの皆さんとも協力しながら、汗水流して来しました。



又、恒例の夏休みデ

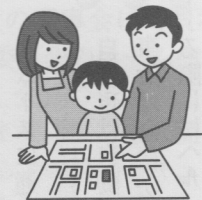
イキャンプでは陸上部員に、バザーでは多くの子供達に、側溝の掃除では野球部員に夫々手伝ってもらい、子供達との絆をより一層感じた年でもありました。

貝塚中協会 会長 有山 守

貝塚中学校職場体験

今年度の職場体験学習は、ご家庭で生徒の希望の職場を探してきてくださったところ(友達を紹介を含む)が、全

東日本大震災から1年



東日本大震災ではすべてが大混乱となり普通の生活ができませんでした。昨今の頃はガソリンスタンドに長蛇の列ができ、店先からは懐中電灯と電池が消えました。学校では給食を出すことができないという状況が続いたりしました。この出来事を教訓として学校では、避難行動の見直しや引き渡し訓練、一斉送信メールの登録等生徒の安全確保に向けて取り組んでいます。次年度は、首都圏直下型地震も話題になっているなか学校、家庭、地域で児童生徒の安全をさらに考えていくことが大切になっています。

体の六十五パーセントもありました。地域の皆様にも体験の依頼を多数お引き受けいただき、ありがとうございました。日頃できない貴重な体験を通して、生徒たちは多くのことを学ぶことができました。

「あいさつの大切さや社会の礼儀がよくわかった。」「笑顔がすごく大切だとわかった。」「自分がミスしたこと



はすぐに認めて素直に謝ることが大事だと感じた。」「など、コミュニケーションの大切さをあらためて実感

編集後記



中学生にとって、職場での体験学習は社会や将来を考えるきっかけになる貴重な学習の場です。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

今年は小学校でインフルエンザがかなり流行りました。また、自転車による交通事故も多く報告されています。家庭・地域・学校で協力し児童・生徒の健康・安全の確保に努めていくことが大切だと感じます。また育成だよりの発行に关しましては一年間ご協力ありがとうございました。

広報部会

戸村 聡